

今治市大三島美術館 館藏品展「若い力」
令和3年2月4日(木)～令和3年4月25日(日)

【小展示室】

	作者名	作品名	分類・形状	寸法 (cm)	制作年
1	岸野 圭作	富貴花	紙本彩色	53.0 x 65.0	1983
2	高橋 秀年	山雲	紙本彩色	81.0 x 116.0	1986
3	堀井 利香	春光	紙本彩色	97.0 x 145.4	1991
4	南 聡	跡	紙本彩色	130.3 x 89.4	1998
5	仙崎 誠	夢	紙本彩色	78.0 x 130.5	1996
6	高橋 秀年	海雲	紙本彩色	81.0 x 116.0	1986
7	稲本 実	瓶花	紙本彩色	65.5 x 53.0	1982

【大展示室】

8	森山知己	牡丹	紙本墨画、彩色	130.3 x 97	1985
9	森山知己	春光	絹本彩色	53.3 x 41	1985
10	中島千波	窓外 (2)	紙本彩色	160 x 120	1969
11	井手康人	八甲田	紙本彩色	80.3 x 130.3	1985
12	岩崎絵里	やわらかく つのるもの	紙本彩色	90 x 145	1991
13	神出睦子	海のうた	紙本彩色	112.1 x 145.5	1989
14	千々岩修	Bologna	紙本彩色	130.5 x 130.5	1996
15	吉田夏乃	新しい始まり	紙本彩色	128.5 x 88.5	1996
16	石田昌輝	駅近く	紙本彩色	112 x 145.5	1991
17	酒井一	ペテュニア	紙本彩色 (含アクリル絵具)	78 x 128	1996
18	能島浜江	時	綿布彩色	89.5 x 115	1996
19	菊地武郎	一時休弾	紙本彩色	130.5 x 97	1996
20	佐藤俊介	PINBALLMACHINE	紙本彩色	96 x 129	1996
21	吉原慎介	盛花	紙本彩色	92 x 66	1984
22	岸野香	線条	紙本彩色	130.5 x 90	1996
23	浅田彩	愛染	紙本彩色	148.0 x 72.0	1985

	加山又造	火の島	絹本彩色	165.8 x 364.5	1961
--	------	-----	------	---------------	------

【展示ケース】

	中島千波	絵馬 十二支		10 x 16.5	1989
--	------	--------	--	-----------	------

【田淵俊夫記念展示室】

	作者名	作品名	分類・形状	寸法(cm)	制作年
1	田淵 俊夫	橘寺遠望	下絵	108.0 x 108.0	1981
2	田淵 俊夫	飛鳥川	下絵	42.0 x 34.0	1984
3	田淵 俊夫	古都心象	下絵	108.0 x 108.0	1978
4	田淵 俊夫	明日香心象	下絵	77.0 x 95.0	1980
5	田淵 俊夫	明日香心象 橘寺遠望	下絵	148.0 x 115.8	1992
6	田淵 俊夫	明日香心象 橘寺遠望(4点)	下絵	165.0 x 84.0	1991
7	田淵 俊夫	寒風	下絵	32.7 x 41.8	1979
8	田淵 俊夫	「野の彩り」やまざくら	リトグラフ	37.5 x 49.5	
9	田淵 俊夫	「野の彩り」たんぽぽ	リトグラフ	37.5 x 49.5	
10	田淵 俊夫	「野の彩り」へびいちご	リトグラフ	49.5 x 31.5	
11	田淵 俊夫	「野の彩り」はぎ	リトグラフ	49.5 x 37.5	
12	田淵 俊夫	「野の彩り」フウセンカズラ	リトグラフ	37.5 x 49.5	
13	田淵 俊夫	「野の彩り」あきののげし やぶまめ はぎ	リトグラフ	37.5 x 49.5	
14	田淵 俊夫	円窓三題 くも	版画	17.3	
15	田淵 俊夫	円窓三題 ゆき	版画	17.3	
16	田淵 俊夫	円窓三題 ひまわり	版画	17.3	

田淵俊夫氏略歴：

1941年（昭和16）東京都江戸川区に生まれる。1967年東京芸術大学大学院修了。1968年第53回院展に「ヨルバの神々」が初入選、71年春の院展で「秋宴」が奨励賞（以後6回受賞）、81年には外務大臣賞を受賞。また1971年には第15回シェル美術賞展で佳作賞受賞、78年「安曇野」が第1回東京セントラル美術館日本画大賞展優秀賞、79年「輪中の村」が第5回山種美術館賞展 優秀賞を得る。1982年第1回前田青邨賞、同年第67回院展で「流転」が日本美術院賞・大観賞、83・84年と連続奨励賞、85年には第70回院展で「叢叢讃歌」が2度目の日本美術院賞・大観賞を受賞し、日本美術院同人に推挙。1988年第73回院展では文部大臣賞、94年には「大地Ⅰ・Ⅱ」で第79回院展内閣総理大臣賞を受ける。学生時代は心象風景を描いていたが、卒業後アフリカへ旅し灼熱の太陽のもとで逞しく生きる植物に感動したのがきっかけで雑草を描き始める。その後、大和などの風景を主題とし、80年代に入って再び草花を題材とすることが多くなる。近年は奈良の心象風景、旅窓から見た生活情景のほか、インドや中国、ベトナムなどを題材としている。精緻な線描と緑や青など淡い色彩を特色とする作品は叙情味を帯びて清く澄み、古典的な優美さを醸している。

1996年大三島美術館に田淵俊夫記念展示室がオープン。以後同館で個展開催。現在、日本美術院理事長。2019年文化功労者に選ばれる。

【応接室】

1	村上 佳苗	いつともしれんいつかまで	油彩	116.7 x 91	2012
2	村上 佳苗	大三島	油彩	45 x 35	2017
3	村上 佳苗	しまなみ	油彩	72 x 61	
4	村上 佳苗	みかん山	油彩	145.5 x 97	2010